

## 予算規模

(単位:千円)

	令和2年度	令和元年度	対前年度比	令和2年度
				事業費割合
補助事業	257,977	249,818	8,159	9.4%
自主事業	114,510	118,178	△ 3,668	4.2%
人件費(補助・自主事業)	373,691	375,380	△ 1,689	13.6%
受託事業(人件費含む)	675,674	680,467	△ 4,793	24.6%
指定管理事業(人件費含む)	1,323,814	1,274,364	49,450	48.2%
事業費総額	2,745,666	2,698,207	47,459	
減価償却費	12,613	15,320	△ 2,707	
リース債務等				
総計	2,758,279	2,713,527	44,752	

※構成比は、端数処理により合計値が100%にならない場合がある。

令和2年度の経常費用は2,758,279千円で、最低賃金上昇に伴うパート人件費増の影響等もあり、令和元年度と比較して44,752千円、約1.6%の増である。

補助事業費は、主に、「展示会の開催」で小泉八雲生誕170年を記念して特別展・関連イベントを開催することや、「新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン」においてジョイントイベントを開催すること、またハーフマラソンのコース拡大に係る準備に伴う費用を計上したこと等から8,159千円増となる。

自主事業費は、主に、「実験的創造的舞台芸術鑑賞機会の提供」(自主)で実施していたジャズ公演が「舞台芸術鑑賞機会の提供」(補助)に事業移管となることや、これまで自主事業であった「はじめてしゃべる日本語クラス」を区受託事業として実施すること等から、3,668千円減となる。

人件費(補助・自主事業)は、人件費予備費が皆減のため、1,689千円減となる。

受託事業費は、主に、「学校施設等活用事業」において最低賃金引き上げにより施設管理委託費等が増加した一方で、区の方針により「放課後子どもひろば」の受託校数が9月より3校減少することによる人件費、事業費の減等から、4,793千円減となる。

指定管理事業費は、主に、令和2年度より「四谷スポーツスクエアの運営」が新規事業として加わることや、全館的に最低賃金引き上げによりパート人件費が増加すること、実績を踏まえ光熱水費が増加すること等から、49,450千円増となる。

※ 自主事業及び指定管理事業の経常費用にはリース債務6,524千円が含まれているが、収支予算にはリース債務を表記しないため、事業費総額より減算している。